

テーマ	教育の最新事情		
講習内容	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等の省察」について、新しい学習指導要領および世界の教育動向を軸に理解する。その際、そこで想定されている学習像、子ども像の理解も図る。以上を第1の目標とする。また、キャリア支援の観点からふまえた特別支援教育、居場所づくりを意識した集団形成および多様化に応じた学級づくり、授業づくりと学級担任の役割について考察することを第2の目標とする。		
科目区分	必修領域	対象	全教諭、養護教諭、栄養教諭
担当	藤馬 享（教育学部 准教授） 青戸 泰子（教育学部 教授）	キャンパス	金沢八景キャンパス
講習期間	2019年8月5日（月）	講習時間	6時間
授業形態	対面授業	試験方法	筆記試験

時間割	講時	時間	内容
	オリエンテーション	8:55 9:00	・講習中の諸注意、大学各施設についてや当日の流れ等をご説明します。
	1 講時	9:00 10:30	国の教育政策や世界の教育の動向 担当：藤馬 享 中央教育審議会答申、教員養成制度改革や学習指導要領改訂などの動向を概観し、教育に期待されていること、教員に求められていることなど、我が国の教育の目指す方向性について考える。また、学習到達度調査（PISA）や国際教員指導環境調査（TALIS）等をもとに、世界の教育の動向と関連付けながら、今後の日本の学校教育において子どもに身に付けるべき学力とは何かを考える。
			教員としての子ども観、教育観等についての省察 担当：藤馬 享 我が国の教育政策や教育をめぐる社会状況、子どもを取り巻く環境の変化など踏まえ、講義やディスカッションなどを通して自己の子ども観・教育観を見つめなおすとともに、これからの社会を生きる子どもを育てるために、教員に必要なとされる能力や資質について考える。 ・筆記試験
	3 講時	13:15 14:45	「特別支援教育と人間関係づくり」の理論と実践 担当：青戸 泰子 講義のはじめに、居場所づくりを意識した集団形成および多様化に応じた学級づくりを視野に入れたりレーション演習を行う。その後、キャリア支援の観点を踏まえた特別支援教育における「パーソナル・アプローチ（個別の理解と支援）」について理論と実践を紹介する。
			「特別支援教育と授業づくり」の理論と実践 担当：青戸 泰子 キャリア支援の観点を踏まえた特別支援教育における「ユニバーサル（学級すべての子どもを対象とした）・アプローチによる授業づくり」について理論と実践を紹介する。また本講義を踏まえながら学級担任の役割について考察することを試みる。 ・筆記試験
	伝達事項	16:30 16:40	・今後の修了書送付までの流れ等をご説明します。 ・事後アンケート →ご提出いただいた方から講習終了となります。
	備考	※ 2 講時内と 4 講時内に筆記試験を実施します。	